



今年の古文書講座は幕末維新期が題材に

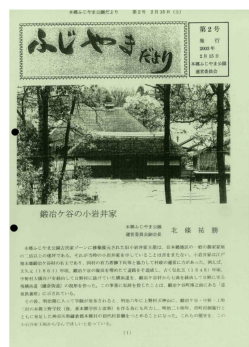
第17回古文書講座は、幕末維新期の鎌倉郡の村々の様相を横浜市歴史博物館の小林紀子学芸員にお話をしていただく予定です。例年行っている古文書講座は、小岩井家文書解読勉強会の結果を古文書講座として公開しているものです。小岩井家文書は近世後期、鍛冶ヶ谷村の名主を務めた同家に残されたもので、その数は1万点を超え、横浜市歴史博物館に寄託されています。

勉強会は本郷ふじやま公園古民家ゾーン開園時から始まり、この数年、幕末から明治初期の御用留類を中心に解読してきました。そこには、大政奉還の通達と万事従来通りにすること、明治に改元になったこと、東海道を下る東征軍の小田原から戸塚までの地元への要求と地元側の対応、地域の治安維持のための農兵の徴募・訓練・金銭による代替え等々が記述されています。解読・検討によって当時の地域社会や住民の生活の一部を理解することが出来ます。

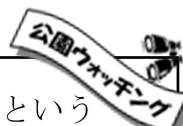


日 時：平成30年11月4日(日)13時～14時30分
会 場：あーすぷらざ会議室
演 題：幕末維新期の鎌倉郡の村々
講 師：横浜市歴史博物館 小林紀子学芸員
参加費：500円(資料代) 定 員：80名
申 込：往復ハガキで公園事務所まで
締 切：10月24日(水) 申込多数の場合は抽選

上記の古文書は江川太郎左衛門からの大政奉還の通達文です。大意は次の通りです。
徳川慶喜は天下の情勢を鑑み政権を朝廷に返した。朝廷は万機決済を行うが天下の意をくみ取り偏らず人心と同じにして行ふ。徳川の良法はそのままとし変更ない。各々は朝廷の聖断を受けて、安心して家業を営みなさい。



本郷ふじやま公園ホームページの「ふじやまだよりアーカイブ」というところをクリックすると、ふじやまだよりを創刊準備号から全部見ることが出来る。そう昔のことではないのだが、それでも開園前後のちょっとした興奮ぶりが良く分かり楽しい。ボランティア活動で大事なはその気持ちの高まりをどこまで持続して、かつそれをどう次世代につないでいけるかということだろう。歳を取ると気力も薄くなってくるし、何事もまあいいか…ですませてしまうことが多くなる。時々覗いて気力を奮い立たせてみよう。



第 1 回ふじやま公園写真コンテスト 早朝開園を行いました

コンテストの被写体の主役である変化朝顔の開花にあわせて 8 月 11 日(土)、いつもの開園時間を繰り上げて 8 時にしました。当日は開園まもなく 10 人以上の熱心なファンが主屋前に並べられた朝顔鉢にカメラを向けていました。鉢の向きを変えたり、式台に移動したりして熱心に撮影を続けていました。



コンテストの写真は、締切の 8 月末までに 14 名の方々から 46 点の応募がありました。審査の結果は、ふじやまだより 10 月号で発表予定です。ご期待ください。

古民家主屋改修工事の主要工程

前号でお知らせしました主屋の改修工事の主な工程は次の通りです。

9 月 10 日～ 9 月 30 日 仮設工事 養生 調査など準備工事・作業
10 月 1 日～ 10 月 18 日 土間改修工事 塗装 木工事 補修
10 月 19 日～11 月 30 日 茅葺屋根改修工事
12 月 1 日 ～ 12 月 5 日 仮設撤去



工事期間中は主屋内の見学や体験教室・行事の実施は出来ません。しかし工作棟での体験教室、長屋門の見学、前庭の長屋門側の半分は利用できます。

工事見学会は 11 月 11 日(日)を予定しています。
なお天候等の都合で上記の予定が変更になることもあります。
あらかじめご承知ください

古民家 Q&A 押入れ

Q：公園の古民家には押入れが見当たりませんがなぜですか？

A：旧小岩井家住宅には押入れは設けられていません。

押入れは日本の住宅内につくられる物を収納するための場所。通常、奥行を半間、間口は 1 間が普通です。おもてには襖(フスマ)あるいは板戸を立て、戸は引き戸が一般的です。高さは一般に床から長押(ナゲシ)までで 1 間程度です。

押入れは寝具を格納するための空間です。和風住宅では畳の上に布団を敷いて寝ますが、昼間、寝具を格納しておくために、寝所の近くに小部屋(押入れ)を設けました。住宅の間取りに押入れが見られるようになったのは江戸時代中期から末期であり、一般的になったのは明治以降で結構新しいものです。

寝具として現代のように綿入れ布団を庶民が用いるようになったのは綿栽培が盛んになった江戸末期からです。押し入れは貴重な綿入れ布団を格納するものでした。

旧小岩井家住宅は建築が江戸時代後半で、押入れが一般化する前であり、布団などは他の衣類などと共に、納戸に格納されていたと思われます。納戸は寝具・衣類・道具類を格納する屋内の物置部屋で、寝室にもなりました。旧小岩井家住宅の納戸の広さは 6 畳で



押入れの参考画像



ケイトウ (鶏 頭)

夏から秋にかけ鶏のとさかのような真っ赤な花をつけるが、近年は、黄や白の円錐状の花を目にすることが多い。

原産地はアジアやアフリカの熱帯地方とされ、ふじやま公園内庭の花壇では、猛暑に見舞われた今年の夏も、暑さ負けすることなく猛々しく咲くケイトウを見ることができる。

ケイトウを題材とした作品としては、結核のため 35 歳という若さで早逝した正岡子規の、“鶏頭の 十四五本も ありぬべし” という句が有名。



《今年の夏は特に暑かったです》

今年の 8 月の来園者は 617 名と例年より大幅に減りました。平成 25 年～29 年の 8 月の来園者を調べてみると 830 名から 1,010 名で平均 930 名です。今年は例年の 1/3 になったわけです。事務所の窓の外にある寒暖計は 40℃を超えることもしばしばでした。日中の来園者は事務所脇にあるサーバーの冷水で一息入れたことでしょう。これから涼しくなり、シーズンです。

『いろり辺雑記』 から (原文のまま)

昔のくらしを想像しました。 たたみ、気持ちよかった。

今のと天じょうの高さ家の広さがちがっていた。

そろばんの一の玉が 4 つでなく 5 つだった。 (県外 10 代 家族で)



平成 30 年 10 月度ボランティア活動予定

部 会・事 項	日 程	部 会・事 項	日 程
事務局会議	4 日(木)	古民家歴史部会 部会	14 日(日)
農芸部会 部会	15 日(月)	古文書解読勉強会	7 日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	3 日(水)
里山部会 作業	13 日(土) 20 日(土)	クリーンアップ	休みます
	21 日(日) 28 日(日)	広報部会	
工作棟部会 部会	26 日(水)	ふじやまだより編集会議	7 日(日)
子ども工作準備	適時	印刷	13 日(土)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	ホームページ制作打合せ	28 日(日)

公園ボランティアを募集中です。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡ください。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限 定員
押し絵 (全2回)	11月5日(月)、19日(月) 13時～16時	押し絵で来年の干支いのしし を作ります	1,500円	10月20日(土) 12名
押し花絵	11月13日(火) 13時～15時30分	クリスマス、正月開運 押し花絵	1,500円	11月6日(火) 5名
七宝焼	11月14日(水) 13時～15時	バラ模様のブローチを 作ります	500円	11月5日(月) 6名
フラワー アレンジメントⅠ	11月20日(火) 13時30分～15時30分	クリスマスリース	2,000円	11月9日(金) 8名
里山のそば打塾	11月24日(土) 10時～12時30分	手打ちそばの基本を学び、 美味しいそばを打ち、自分で 打ったそばを試食します	900円	11月9日(金) 10名
簡単デコハージュ	11月27日(火) 13時～15時	クリスマス柄をパネルに デコします	700円	11月20日(火) 6名
フラワー アレンジメントⅡ	11月29日(木) 13時30分～15時30分	クリスマスアレンジメント	2,000円	11月15日(木) 8名

(1)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2)応募者多数のときは抽選 (3)持参品：返信はがきで連絡します。

・・・お知らせ・・・

★ 工作棟作品展

工作棟体験教室で作った作品の展示会が9月30日(日)から10月13日(土)まで本郷台駅前駐輪場展示スポットで開かれます。絵手紙、押し絵、押し花絵、七宝焼、創作人形、デコパージュ、パステルアート、フラワーアレンジメント、和布細工などの各教室の作品をぜひご覧ください。写真は以前の状況です。



★ 公園ボランティアに参加しませんか

ふじやま公園では年間行事の企画実施、農園や竹炭焼きの自然の中での作業、古民家主屋内の飾りつけ、ふじやまよりの編集・印刷など色々な活動があります。自分の趣味や時間に合せて参加しませんか。 お問合せや参加申込みは電話または、直接事務所窓口へどうぞ。

★ ふじやま公園来園者数 8月来園者数 617名 30年度累計 7,331名

- ・開 館 時 間： 9時～17時
- ・入 館 料： 無 料
- ・休 館 日： 毎月第1水曜日(10月3日)
- ・ク リ ー ン ア ッ プ： 古民家主屋の改修中のため休みます

本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20

TEL：045-896-0590

FAX：045-896-0593